

別紙 1

令和 3 年度 農山漁村振興交付金（山村活性化対策）
事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和 3 年度に実施された農山漁村振興交付金（山村活性化対策）の事業について、「農山漁村振興交付金（山村活性化対策）実施要領」（平成30年 3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知）の第9の1の（1）の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
和歌山県	白浜町	SDGsによる白浜町 地域未来創造協議会	●	○	□	B	令和3年度の取組は、コロナ禍の影響を受けたため、雇用者数が目標達成に至ってないが、それ以外に大きな遅延や未達もなく良好である。次年度における売上や雇用者数の目標達成に期待したい。

（注1）「事業実施段階」の凡例：○・交付対象年度（計画） ●・交付対象年度（実施済） □・目標年度（計画） ■・目標年度（実施済）

（注2）「評価」の区分：A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）実施要領の第9の1の（1）の規定に基づき、第三者である坂口 和昭から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

和歌山県林業試験場 特用林産部 部長 坂口 和昭

【意見聴取の概要】

地域資源の活用に向け、山村資源実態調査、6次化商品開発調査及びマーケティング調査の3つの基本的な調査を行い、過去の文献調査や、林業関係者・山主・地元産業従事者などへ聞き取りにより、まずは現在資源活用が期待されているイタドリの6次化商品の試作品の開発に至った。オーガニック化粧品開発で評価の高い鹿児島県のボタニカルファクトリー社の協力を得て試作品を開発するなど、2年目以降の最終商品化計画が概ね良好であることが確認できた。また、販促を進める為のマーケティング施策として、オーガニックをテーマとした商品パッケージのデザインや情報発信体制（専用のSNSやホームページの設置）の構築も進められていることから、今後首都圏等への販路拡大及び新商品による売上の目標達成に期待が持てる。